



Arcserve Backup 18.0

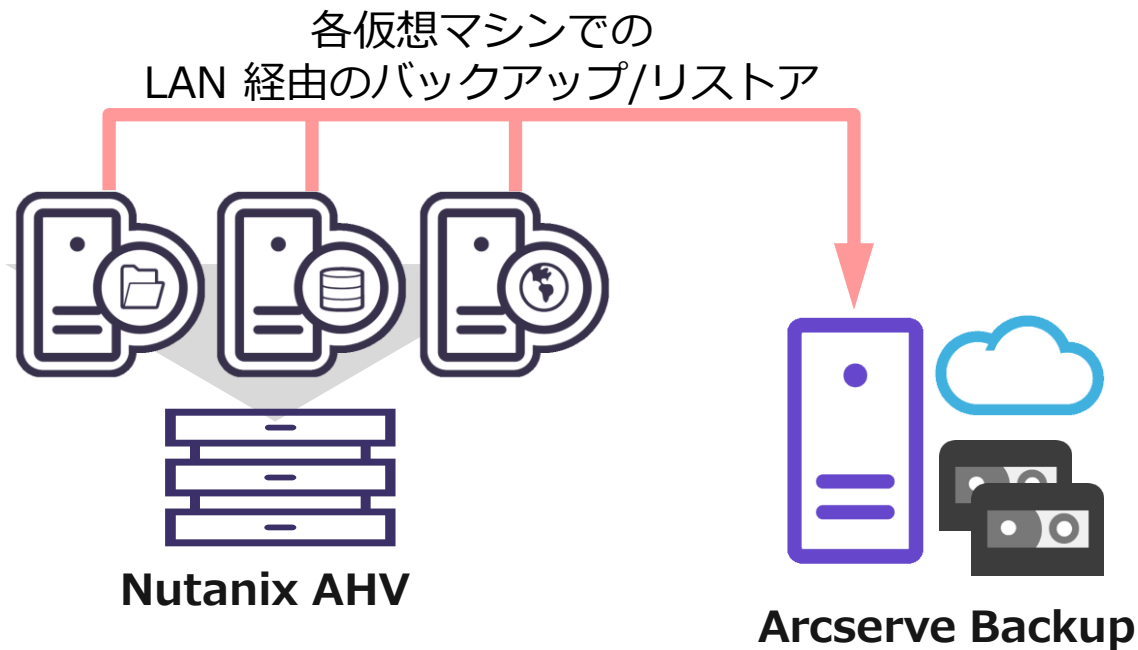
新機能のご紹介

Sep 25, 2020 (Rev: 1.1a)



仮想化環境の対応強化: Nutanix Acropolis (AHV)

エージェントベース (物理サーバと同じバックアップ方法) のサポートを開始



OSやアプリケーションの
データ保護

仮想マシンのデータを
テープやクラウドへ直接保管

バックアップサーバ機能を
仮想マシンに導入可*

* 仮想マシンをバックアップサーバにする場合、バックアップ先はディスクベースデバイス (FSD/DDD)



プラットフォーム・アプリケーション対応の追加

OS 仮想インフラ対応

Microsoft Windows Server **2019**
Red Hat Enterprise Linux **8.x**
VMware vSphere **6.7、6.7 Update 1-3、7.0**
Nutanix Acropolis (AHV)

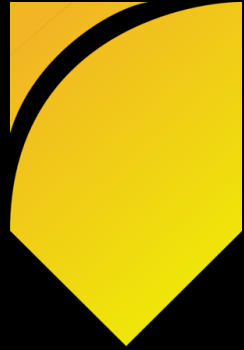
アプリケーション 対応

Microsoft SQL Server **2017, 2019**
Microsoft Exchange Server **2019**
Oracle **18c, 19c**
Domino **10.0, 10.0.1, 11.0.1**

その他

セキュリティ脆弱性強化: **TLS 1.2 対応**
Arcserve UDP との連携強化: **RPS の増分バックアップ**

* 最新の動作要件は <https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-Backup-18-Software-Compatibility-Matrix?language=ja> 参照



arcserve®